

令和6年度第8回小牧市立米野小学校改築協議会 議事録

1. 開催日時：令和7年3月26日(水)午後6時から午後8時まで

2. 場 所：小牧市立米野小学校プレハブ校舎多目的教室

3. 出席者：

(1) 委員

鈴木 久代 (米野小学校 校長)
小栗 幸子 (米野小学校 教頭)
森 猛 (米野スポーツ文化クラブ会長)
伊藤 恵美 (学校地域コーディネーター)
柘植 昭雄 (交通安全ボランティア)
中田 雅之 (米野小学校 PTA 副会長)
松由 美由紀 (米野小学校 PTA 家庭教育委員)
安藤 和憲 (米野小学校教育後援会 後援会長(北外山区長))
中村 研一 (中部大学工学部建築学科教授)
鈴木 賢一 (名古屋市立大学特任教授)
[欠席]
青山 英孝 (米野小学校 主幹教諭)
辻ノ上 祐介 (米野小学校 校務主任)
安藤 千晶 (学校サポーター)
滝口 竜也 (米野小学校 PTA 会長)

(2) 事務局

伊藤 京子 (教育委員会事務局 教育部長)
矢本 博士 (教育委員会事務局 教育部次長)
丸藤 卓也 (教育委員会事務局 教育総務課長)
大橋 誠司 (教育委員会事務局 教育総務課 施設係長)
江口 準啓 (教育委員会事務局 教育総務課 施設係主事)
設計事務所 3名 (株式会社大建設 名古屋事務所)

(3) 傍聴者 0名

4. 議題

(1) 米野小学校実施設計について

(2) 模型について

5. 協議会内容

(1) あいさつ

伊藤部長よりあいさつ。

(2) 協議報告事項

・米野小学校実施設計について

株式会社大建設 名古屋事務所より説明。

安藤(和) 委員： 3階の多目的教室の面積はどの程度か。

事務局： 普通教室と同程度としている。多目的教室は黒板の位置が普通教室と異なり、可動間仕切りによって南北に隣り合った2室を繋げて利用可能な計画としている。

安藤(和) 委員： 臨時駐車場は何台か。

事務局： 16台程度は駐車可能である。

柘植委員： グラウンドは工事期間全体で使用不可なのか。少しでも使用可能期間が長いとよい。

事務局： 令和7年8月～9月の先行解体の際には、グラウンド中央部分は工事範囲外として利用できる方針としているが、施工業者が決定された後で協議検討をすることになる。着工時から全て工事エリアになる可能性もある。グラウンド使用不可期間は移動時の安全を確保したうえで城見公園を活用予定としている。

松由委員： 工事作業の時間帯はいつか。登下校の時間と被らないか。

事務局： 安全確保と学校周囲のスクールゾーンの車両規制の関係で、児童の登校が完了した後に工事を開始することになる。

鈴木(賢) 委員： 改築による土の搬入出はあるのか。

事務局： 新築工事の規模が大きいため、先行解体する既設プール跡地に一部の土を仮置きし、残りは場外搬出する方針。

小栗委員： 校舎南側の緊急時車両動線はどの程度確保できているか。

事務局： 菜園と校舎の間に一般車両が通行可能な2.5m～3m程度の幅員通路を確保している。体育館南側が設備機器の関係で最も狭く、2.5m程度となる。通路を広げる為に体育館の縮小や、建物配置全体を北側に移動することも考えたが、協議の結果、グラウンドの利用を考慮して最低限の通路幅確保とした。

小栗委員： 緊急時の保護者送迎に利用するのは難しいということか。

事務局： 駐車場一台分の幅があるので、注意しながら通り抜けることは可能だが、主な災害時の保護者送迎動線は南東の通用門から正門に抜けるルートを想定

している。グラウンドへ至る大型バス動線を活用して保護者の車両をグラウンドへ誘導することも可能である。

小栗委員：メディアセンターのイメージ図が暗く見えるが、照度は確保されているか。

事務局：照度計算をし、必要な照度を確保している。

小栗委員：ガラスが大きいものには衝突防止のサインをつけて頂きたい。

事務局：扉状でガラス面の大きいものは衝突防止のサインをつける計画としている。腰窓等、ガラス面が明らかなものは対象外としている。

小栗委員：北側の住民に配慮し、グラウンドの目隠し、遮音、防砂などの対策をして頂きたい。

事務局：新設樹木と防球ネット、ルーバーフェンスで目隠しを行っている。砂については飛散が少ない材料を使用し、音については指向性のある屋外スピーカーを分散配置して、地表面に向けて音を向ける計画として周囲にできるだけ音が広がらないように配慮した計画としている。

小栗委員：体育館が現状の配置から南西へ移動する。近隣住民、校舎内の利用を考慮して、体育館とミーティングルームの防音性を高めてほしい。

事務局：工事内で対応を検討する。体育館については2階の窓面を東西に設けており、西側の開口を開けない等の運用方法による防音も想定している。

小栗委員：防犯カメラの設置位置を教えてほしい。夜間の写りも考慮してほしい。

事務局：外周りに4台計画している。駐車場を対象としたカメラで北門もカバーできるようにしている。現状の配置では正門が範囲対象外になっているが、現場対応で位置調整を行う。夜間でも利用可能なスペックを有するカメラを採用する方針としている。また、屋内の一台で昇降口周りをカバーするカメラ配置としている。

・模型について

株式会社大建設計 名古屋事務所より説明。

中田委員：外灯はどの程度あるか。

事務局：模型上は表現していない。後日回答する。

→敷地西側に8基、南東門側に1基設置予定。

鈴木(久)委員：地域開放で利用するトイレは、1階の普通教室前トイレと同じか。

事務局：同じである。地域開放では体育館前の廊下からアクセスし、教室側と繋がる扉を施錠することで、地域開放時に教室エリアには立ち入れない計画としている。

安藤(和)委員：校舎南側の車両通路について、緊急時以外の通行は想定していないのか。

事務局：緊急時以外は想定していない。

- 安藤(和)委員： 通常時はポール等を設置し、車が通れない計画とした方が良いのでは。
- 伊藤委員： 多目的トイレはあるのか。
- 事務局： 各階全てに最低1箇所は設置しており、1階は地域開放と併用するトイレに多目的トイレを設けている。
- 小栗委員： 地域開放と併用するトイレの施錠はどのように行うのか。
- 事務局： 通常の鍵管理で施錠を行うことになる。
- 安藤(和)委員： AEDの設置場所はどこか。また、外部階段はあるのか。
- 事務局： AEDは昇降口の保健室側に設置予定である。外部階段は3階から屋上へ上がる鉄骨階段のみである。
- 安藤(和)委員： 避難時はどこの階段を利用する想定か。
- 事務局： 吹抜け階段の他に、北・南にそれぞれ階段があるので併用して避難する。職員室からは、児童クラブの階段を使って避難もできる。
- 中村委員： 北西の門から昇降口までを繋ぐ通り沿いの樹木と防球ネットの位置を入れ替えてはどうか。その方が通学時の児童や近隣住民から樹木が良く見え、景観が良いのでは。
- 事務局： 北西側には水路、道路があるので、落ち葉等の影響が生じてしまう。そうした点を含め、今後検討していく。
- 中村委員： 駐車場西側にも樹木があると、南西側の樹木と繋がり、景観が良くなるのでは。
- 事務局： 今後検討していく。
- 安藤(和)委員： 学校名を掲示する位置は決まっているのか。
- 正門から見えるよう、校舎西側の2階外壁に学校名を掲示する計画としている。また、南東外壁に校章を掲げる予定である。
- 松由委員： 西側道路沿いは米野小学校のことを既に知っている人が通るので、南東側の校章と合わせて学校名を設置すると、良い広告となるのではないか。
- 中村委員： 中庭、憩いの庭の名称について、児童に募集してみてもどうか。また、憩いの庭を多目的な芝生広場にしたいという考えは理解するが、高木を2～3本程度シンボルとして植えても良いのではないか。プロポーザル時点のコンセプトである、川沿いの緑を校舎側に繋げ、緑を校舎付近に配置するという考えからも、憩いの庭に樹木を設けたほうが良いと思う。
- 事務局： 憩いの庭の運用方法も含め、今後検討していく。

(3) その他

- ・今後の工事予定等について事務局より説明。

以上。

※発言の内容については要旨としています。